

令和8年度 中学校1年「高志学」宿泊研修

5月12日（火）～14日（木）の3日間、1年生が宿泊研修を実施しました。「探究！ 共創！ 12期生！」をスローガンに、クラスだけでなく学年全体で親睦を深めるとともに、これから始まる「高志学」に向けての学び、基礎力を養う研修となりました。

第1日目【5月12日（火）】

<敦賀ムゼウム・赤レンガ倉庫・鉄道資料館・気比神宮>

午前には、まずクラスごとに敦賀ムゼウム・赤レンガ倉庫・鉄道資料館の3か所の施設をローテーションで訪問しました。各施設では職員の方から解説していただいた上で、自由見学や職員の方への質疑応答を行い、鉄道と港の町敦賀への理解を一層深めることができました。熱心にメモを取り、積極的に質問をする姿が印象的でした。そのあとは学年全員で気比神宮を訪れました。



<海浜自然センター>

続いて海浜自然センターに向かい、施設裏手の堤防で海を見ながらお弁当を食べました。昼食後は、2グループに分かれ、ローテーションでプランクトン観察と館内見学を行いました。プランクトン観察では、プランクトンに関する講義を受けた後、隣接する海まで出向いてプランクトンネットで海水をくみ取り、その海水内のプランクトンの観察を行いました。顕微鏡の操作に苦戦しながらも、初めて見る海のプランクトンに生徒たちは興味津々の様子でした。館内見学では、実際の生きものを見たり触れたりする中で、若狭湾や三方五湖の生きものについての理解を深めました。



<学年レクリエーション>

夕方からは、三方青年の家において入所式の後、学年レクリエーションでジェスチャーゲームと新聞タワーづくりの2つを行いました。担当の生徒が中心となって企画・運営を行い、学年全体で盛り上がっていました。



夕食後は、お風呂に入ったり、1日の振り返りを行ったり、定期考査の学習をしたりしました。初日はたくさんの施設で多くのことを学んだ一日でした。

第2日目【5月13日（水）】

2日目は、朝のつどいから始まりました。担当の生徒を中心にゲーム性を取り入れた体操をして、寝起きの身体をほぐしました。次に、各クラスの担当の生徒が、作成した学級旗の披露と紹介を行いました。どのクラスもたくさんの思いが詰まった、素敵な学級旗に仕上がりました。



<問いづくり研修>

朝食後は、問いづくりについての研修を行いました。グループに分かれて、前日に訪問した敦賀ムゼウムについての問いづくりに取り組みました。どのグループでも活発な意見交換がなされ、素朴な疑問である問いのタネから、施設で学んだからこそ出てくる問いへと進化している様子が見られました。



<ゴムボート・グランドゴルフ・縄文博物館>

研修後は昼食をはさみながら、クラスごとに三方青年の家でのゴムボートとグランドゴルフと、縄文博物館への訪問をローテーションで行いました。

ゴムボートでは天候にも恵まれ、心地よい日差しと風のもとで活動に取り組みました。最初は、なかなかグループの息が合わず蛇行して進む場面も見られましたが、すぐに息を合わせ力強く前進することができました。

グランドゴルフでは、慣れない競技ながらもお互いにアドバイスをし合い、楽しくプレーをすることができました。

縄文博物館では、館内見学と勾玉づくりを行いました。館内見学では、職員の方に解説をしていただきながら、縄文時代の漆工芸や織物、船作りなどの資料を見て回り、当時の生活や文化について理解を深めました。勾玉づくりでは、柔らかい滑石を砥石やサンドペーパーで削り、満足のいく形に仕上げることができていました。



<野外炊さん（カレー作り）>

夕方からは、学年全体で12班に分かれ、カレー作りを行いました。火起こしや食材の下準備など、役割分担を行い、コミュニケーションをとりながら円滑に作業を進めることができていました。どの班も上手にご飯を炊き上げ、出来上がったカレーに満足している様子でした。食後の後片付けでも鍋についたすすなどを一生懸命こすり落としていました。



野外炊さんの後は、1日目と同じ流れで過ごしました。研修2日目ということもあり、少し疲れも見られましたが、生徒たちは充実した研修に満足している様子でした。

第3日目【5月14日（木）】

最終日も朝のつどいの体操から始まりました。夜はぐっすりと寝られたようで、みんな良い表情で朝を迎えられていました。

<水月湖にみる気候変動に関する講義・年縞博物館>

最後は水月湖の年縞に関する研修を行いました。縄文博物館の学芸員さんによる水月湖にみる気候変動に関する講義と年縞博物館見学をローテーションで行いました。講義と博物館見学を合わせることで、水月湖を取り巻く環境への理解をより一層深めることができました。当時の環境が分かる年縞の実物を目の当たりにし、福井に貴重なものがあるということに改めて気付くことができました。



以上のように、12期生の「高志学」宿泊研修は、天気にも恵まれ、充実した研修となりました。3日間の研修を通して、集団生活の中で互いに協力し合うことの大切さに気づいたり、ふるさと福井の嶺南地域における自然や歴史について知ったりすることができました。また、様々なことに疑問を持って研修に取り組むことで、物事に対する理解を深めるとともに、これから本格的に始まる「高志学」に向けて学びの基礎力を培う研修とすることができました。